

平成十年度大会の概況

日本思想史学会平成十年度大会は、十月十七日(土)・十八日(日)の両日、同志社大学を会場として開催された。第一日目の研究発表者と発表題目は次のとおりである。

〈第一会場〉 司会 竹居明男・八重樫直比古

- 1、倭国における「九州」の成立―日中関係史の新史料批判― 古田 武彦 (同志社大学)
- 2、不改常典の法と古代の君臣関係 北 康宏 (同志社大学)
- 3、空海と六道思想 村上 保壽 (高野山大学)
- 4、二十五三昧会の念仏思想について 島田健太郎 (学習院大学)
- 5、「延暦寺縁起」の変貌 松本 公一 (同志社大学)

〈第二会場〉 司会 田尻祐一郎・佐久間 正

- 1、山崎闇斎における「孝」の概念の意味 崔 昌基 (同志社大学大学院)
- 2、熊沢蕃山の『易経』解釈 閻 茁 (早稲田大学大学院)
- 3、伊藤仁斎における「善」と「悪」 丸谷 晃一 (中部大学)
- 4、伊藤仁斎の古学転向についての歴史的再考察―石田一良博士の啓発に基づきつつ― 童 長義 (台湾大学)

- 5、浅原才市における生命観 新保 哲 (姫路獨協大学)

〈第三会場〉 司会 桂島宣弘・山田芳則

- 1、平田篤胤における日本人「神胤」観念  
(愛知教育大学) 前田 勉
- 2、草木雌雄説をめぐる思想空間と平田派国学  
(京都府立東舞鶴高校) 青木 満
- 3、山路愛山における「同情」論―「敗者の運命」克服の手段として―  
(同志社大学大学院) 近藤 裕樹
- 4、伊能嘉矩と「台湾史」記述―歴史表象と植民地主義をめぐる一考察―  
(大阪大学) 松田 京子
- 5、世紀転換期日本の帝国主義論  
(日本学術振興会) 宇野田尚哉

第一日目の研究発表終了後、総会が行われ、評議員会より平成九年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて評議員より会則改正案、平成十年度事業計画および予算案が提出され、それぞれ評議員会案どおり決定された。

ひき続き、同志社新島会館において懇親会が開催された。

第二日目は午前中は研究発表が行われ、午後に「近代思想史における「異郷」としての日本」をテーマにシンポジウムが行われた。

#### 午前の部

##### 〈第一会場〉 司会 八木聖弥

- 1、明恵の教判について  
(東京大学大学院) 前川 健一
- 2、無住道暁における教学と人間観  
(東北大学) 吉原 健雄
- 3、心敬の密教思想受容  
(宮城学院女子大学) 菅 基久子

##### 〈第二会場〉 司会 辻本雅史・高橋文博

- 1、向井元升と『孝経』  
(東北大学大学院) 本村 昌文
- 2、室鳩巢の道德思想  
(同志社大学) 和田 充弘

3、本居宣長におけるナシヨナリズム—華夷秩序との比較で—  
〈第三会場〉 司会 中野目徹

- 1、前島密と日本の近代化—郵便事業を中心にして—
- 2、北一輝の「東洋」—『支那革命外史』の一考察—
- 3、石川三四郎の思想形成と伝統思想
- 4、吉野作造のアジア

午後の部

シンポジウム「近代思想史における「異郷」としての日本」

報告

- 1、福沢 諭吉
- 2、内村 鑑三
- 3、丸山 眞男

司会者

(東京大学大学院) 福井 裕之

(郵政研究所) 小林 正義

(東京大学大学院) 佐藤美奈子

(宮城県村田高等学校) 後藤 彰信

(大阪大学大学院) 平野 敬和

(同志社大学) 露口 卓也

(東洋英和女学院大学) 原島 正

(同志社大学) 西田 毅

(同志社大学) 沖田 行司

(同志社大学) 出原 政雄